

遠野地区交流会報告

日時：2026年7月29日（水）10:00～12:00

場所：遠野地区福祉センター 第一会議室

参加：端坂支部長、佐藤副支部長、菊池代表世話人、佐々木世話人
その他8名

内容：

1. 挨拶

代表世話人

2. 簡単リハビリ体操

3. 挨拶

佐藤副支部長

端坂支部長

4. パーキンソン病とはどんな病気 支部長 端坂 則喜

パーキンソン病スマイルネット もっと知ろう！パーキンソン病

第一回 パーキンソン病とは 武田 篤 先生

第二回 パーキンソン病の診断と検査 大山 彦光 先生

第三回 パーキンソン病とパーキニズムの違い 市川 忠 先生
の資料を基に説明。

5. 今日の相談事

Aさん：初参加

手が震えるため、盛岡市のクリニックに通院していた。クリニックに赤十字病院で検査を受けるように勧められてドパミントランスポーターシンチグラフィとMIBG心筋シンチグラフィの検査を受けた。岩手医科大学付属病院から派遣されている医師からパーキンソン病と確定診断されなかった。

→本人はパーキンソン病についての知識がなく、また、医師からわかりやすい説明もなかったようだった。

→薬手帳で処方内容を確認させようとうと

Lドパ配合錠 100mg 朝 1回

他は筋弛緩剤の処方になっていた。

手の震えは治まりますかと確認すると治まりません。薬が効いているように感

じないとの説明だった。

Aさんから主治医にどのように伝えれば良いですかとの質問があったので、L
ドバ配合錠 100mg を服用して1時間後に薬が効き始めると思うので手の
震えが少しでも収まれば、薬が効いている証拠なのでそのことを主治医に伝え
てみてください。服用回数を増やすと思います。

手の震えがまったく変わらない場合はパーキンソン病でない可能性があるので
主治医に伝えて、赤十字病院以外の専門医のいる病院を紹介してもらい、きち
んと確定診断してもらった方が良いと思う。ちなみに以前奥州地区の交流会に
参加された方も薬を飲んでも症状がまったく改善されないと言っていたので、
パーキンソン病の専門医のいる病院で確定診断を受けることを勧めた。その方
は仙台西多賀病院で入院検査をうけて、大脳基底核変性症との診断を受けた。
薬がほとんど効かないので、仙台西多賀病院から地元の通しやすい病院に紹介
状を書いてもらい、リハビリを頑張っています。

Bさん

ドパコール200mg を1日3回服用する処方になっている。朝の服薬前に犬
の散歩に出かける時に動きが悪いことを以前の勉強会で支部長に相談したとこ
ろ、夜服用したドパコールの薬効が切れているためではないか。朝の200mg
の半分の100mg を散歩前1時間に服用すると散歩時の動きは良くなると思
うとのアドバイスを受け、試してみたら動きやすくなったのでそのことを
主治医に伝えたところ、起床前 100mg 朝 8:30 100mg の服
用に処方変更された。

最近、進行したためか、昼の服薬前に薬効が切れるようになった。どうすれば
良いか。

→昼の薬の服用時間を朝の薬の薬効が切れる前に前倒ししてはどうか。薬効が
完全に切れてから服用すると薬効が切れている時間+服用して効果が出る時
間、最低1時間は動きにくい状態が続くので日常生活への影響が大きいと思
う。

Cさん

ECドパールを処方されているが100mg × 3服用だと効果が感じられな
い

100mg × 4服用だと眠気や幻聴、幻覚が酷くなるため、100mg × 3 +
50mg の処方になった。

→自分が幻聴、幻覚とわかるのであればそれほど神経質になる必要はないのではないか。

Dさん

盛岡市のクリニックに通院している。以前日中に突然意識を失って転倒して骨折した。以前の交流会で支部長にハルロピテープが最大量近く処方されているので、その影響ではないか。主治医に伝えてみて下さいと言われたので主治医に伝えたが、処方はかわらなかった。幻聴、幻覚に悩まされている。

次回予定

日時：2026年9月9日か10日 10:00～12:00

場所：遠野地区福祉センター